

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

午前の部

登録販売者試験

(平成23年 9月 6日実施)

試験問題

医薬品に共通する特性と基本的な知識・・・ 問 1 ～ 問 20
 主な医薬品とその作用・・・・・・・・・・・・ 問21 ～ 問 60

注意事項

- 試験開始のアナウンスがあるまで、問題を開かないこと。
- 試験監督員のアナウンスにより、問題用紙の表紙に受験番号を記入するとともに、解答用紙に氏名及び受験番号（6桁）を記入すること。
 (注) ①受験番号は、算用数字で記入すること。
 ②解答用紙の「受験番号記入欄」には、受験番号に対応した数字をマークすること。
- 問題用紙は、表紙を除いて30ページある。試験開始後、乱丁等がないかを確認し、異常があるときは速やかに試験監督員に申し出ること。
- 各問題について、答えを一つ選び、その番号のカッコの中全体をHBより濃い黒鉛筆で濃くぬりつぶすこと。(下記(例)参照)

(例)【問150】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

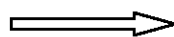
- a. $1+1=2$ である。
- b. $5-3=3$ である。
- c. $1\times 2=2$ である。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

aは正、bは誤、cは正であるから、正しい答えは「1」となる。

よって、問題番号に対応した解答用紙の番号「150」欄の「1」を塗りつぶすこと。

150
[1]
[2]
[3]
[4]
[5]



150
■
[2]
[3]
[4]
[5]

なお、答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残った場合は、修正または解答したことにならないから注意すること。

- 解答用紙の<注意事項>もよく読んでおくこと。

医薬品に共通する特性と基本的な知識

【問 1】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品が人体に及ぼす作用は複雑かつ多岐に渡るが、一般用医薬品については、そのすべてが解明されている。
- b. 医薬品は、科学的な根拠に基づく適切な理解や判断によって適正な使用が図られる必要がある。
- c. 医薬品は、効能効果、用法用量、副作用等の必要な情報が適切に伝達されることを通じて、購入者が適切に使用することにより、その役割を十分に発揮するものである。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問 2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、医療機関で治療を受けるほどではない体調の不調や疾病の初期段階に使用されるものである。
- b. 一般用医薬品は、異物が混入していても健康被害が発生していなければ製造販売業者による製品回収の措置はなされない。
- c. 購入者が一般用医薬品を適切に選択し、適正に使用するためには、薬剤師や登録販売者が専門用語をわかりやすい表現で伝えるなどの適切な情報提供を行うことが必要である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問3】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 薬物が生体の生理機能に影響を与えることを薬理作用という。
- b. 医薬品は、期待される有益な効果のみをもたらす。
- c. 我が国では、医薬品の副作用を「許可医薬品が適正な使用目的に従い適正に使用された場合においても、その許可医薬品により人に発現する有害な反応」と定義している。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	正	誤	正

【問4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の中には、卵白を原材料として作られているものもあるため、卵白に対してアレルギーがある人では使用を避けなければならない場合もある。
- b. アレルギー症状は、鼻汁やくしゃみ等の鼻炎症状、じんましん 蕁麻疹やしっしん 湿疹の皮膚症状に限定される。
- c. 薬理作用のない成分でアレルギーは起こらない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問5】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アレルギーは外用薬では引き起こされない。
- b. 医薬品にアレルギーを起こしたことがない人でも、病気等に対する抵抗力が低下している状態などの場合には、思わぬアレルギーを生じることがある。
- c. アレルギーには遺伝的な要素はないので、近い親族にアレルギー体質の人がいても特に注意する必要はない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	正	正
5	誤	正	誤

【問6】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の副作用には、眠気や口渇等の比較的好くみられるものは含まれない。
- b. 一般用医薬品は、通常、その使用を中断することによる不利益よりも、重大な副作用を回避することが優先される。
- c. 副作用は、血液や内臓機能への影響等のように、直ちに明確な自覚症状として現れないこともある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 7】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、早く効き目が現れるようにするため、個人の判断で定められた用量を超えて服用することが認められている。
- b. 一般用医薬品を使用して一時的に症状を緩和するだけの対処を漫然と続けているような場合には、適切な治療の機会を失うこともある。
- c. 一般用医薬品の不適正な使用には、使用する人の誤解や認識不足に起因するものがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 8】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品には、習慣性・依存性がある成分を含んでいるものがある。
- b. 一般用医薬品による薬物依存からは、容易に離脱することができる。
- c. 薬剤師や登録販売者は、必要以上の大量購入や頻回購入などを試みる不審な購入者等には、慎重に対処する必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問 9】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 複数の医薬品を併用した場合、又は特定の食品と一緒に摂取した場合に、医薬品の作用が増強したり、減弱することを相互作用という。
- b. 相互作用には、医薬品が吸収、代謝、分布又は排泄される過程で起こるものと、医薬品が薬理作用をもたらす部位において起こるものがある。
- c. 相互作用を回避するには、ある医薬品を使用している期間やその前後を通じて、その医薬品との相互作用を生じるおそれのある医薬品や食品の摂取を控えなければならないのが通常である。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	正	正	正
5	誤	誤	正

【問 10】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. かぜ薬とアレルギー用薬では、成分や作用が重複することはないので、併用してもよい。
- b. 複数の疾病を有する人では、疾病ごとにそれぞれ医薬品が使用される場合が多いため、相互作用に特に注意する必要がある。
- c. 薬剤師や登録販売者においては、一般用医薬品の購入者に対し、医療機関を受診する際に、使用している一般用医薬品の添付文書を持参して見せるよう説明がなされるべきである。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	正	正

【問 1 1】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 酒類（アルコール）をよく摂取する者では、その代謝機能が高まっていることが多く、アセトアミノフェンは、通常よりも代謝されやすくなり、体内から速く消失して十分な薬効が得られなくなることがある。
- b. 副作用のリスクを減らす観点から、緩和を図りたい症状が明確である場合には、なるべくその症状に合った成分のみが配合された医薬品を選択することが望ましい。
- c. 食品には、医薬品成分と同じ物質を含むものがあるため、同じ成分を含む医薬品と食品と一緒に服用すると過剰摂取となることがある。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	正	正	誤
5	正	正	正

【問 1 2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 小児は大人と比べて身体の大きさに対して腸が長く、服用した医薬品の吸収率が高い。
- b. 小児は大人と比べて循環血液中の医薬品の成分が脳に達しにくいいため、中枢神経系に影響を与える医薬品であっても副作用を起こしにくい。
- c. 医薬品によっては、形状等が小児向けに作られていないため小児に対して使用しないことなどの注意を促しているものがある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	正

【問 1 3】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の使用上の注意等において、「高齢者」という場合には、おおよその目安として60歳以上を指している。
- b. 高齢者に、一般用医薬品を定められた用量より少なく使用しても、十分な効果が得られなくなるだけで、必ずしもリスクの軽減にはつながらない。
- c. 一般に高齢者は生理機能が衰えつつあり、特に、肝臓や腎臓の機能が低下していると医薬品の作用が強くなりやすくなる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問 1 4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 妊婦が一般用医薬品を使用しても、胎盤関門によって、その成分が胎児に移行しないことが確認されている。
- b. 便秘薬には、配合成分やその用量によっては流産や早産を誘発するおそれがあるものがある。
- c. 医薬品の成分が乳汁中に移行することはないので、母乳を介して乳児が医薬品の成分を摂取することはない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 15】

次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. プラセボ効果は、主観的な変化だけでなく、必ず、客観的な測定可能な変化として現れる。
- b. プラセボ効果は、医薬品を使用したこと自体による楽観的な結果への期待等が関与して生じると考えられている。
- c. 通常、医薬品を使用したときにもたらされる反応や変化には、薬理作用によるもののほか、プラセボ効果によるものも含まれている。
- d. プラセボ効果によってもたらされる反応や変化には、望ましいものだけで不都合なものは含まれない。

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (a , d) 4. (b , c) 5. (b , d)

【問 16】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品は、適切な保管・陳列がなされなければ、効き目が低下したり、人体に好ましくない作用をもたらす物質を生じることがある。
- b. 医薬品は、高温や多湿によって品質の変化を起こしやすいものが多いが、光（紫外線）による劣化はない。
- c. 医薬品は、剤型や包装形態にかかわらず、開封して使用を開始した後も、表示されている「使用期限」まで品質が保証される。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 17】

次の一般用医薬品の役割に関する記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. 衛生害虫の防除
2. 健康の維持・増進
3. 健康状態の自己検査
4. 生活の質（QOL）の改善・向上
5. 妊娠の確定診断

【問 18】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品を一定期間若しくは一定回数使用しても症状の改善がみられない場合は、医療機関を受診して医師の診察を受けることが望ましい。
- b. 薬剤師や登録販売者は、購入者側に情報提供を受けようとする意識が乏しい場合でも必要な情報提供を行えるよう、コミュニケーション技術を身につけることが望ましい。
- c. すぐに医薬品を使用する状況にない場合は、購入者等に対して、実際に使用する際に、改めて添付文書等に目を通すよう促すことが重要である。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	正

【問 19】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. サリドマイド訴訟は、妊娠している女性がサリドマイド製剤を使用したことにより、出生児に四肢欠損、耳の障害等の先天異常が発生したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. サリドマイドは貧血用薬として承認された。
- c. CJD 訴訟は、ヒト乾燥硬膜を介してクロイツフェルト・ヤコブ病に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	正	誤	正
5	誤	誤	正

【問 20】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. スモン訴訟は、鎮痛剤として販売されていたキノホルム製剤を使用したことにより、亜急性脊髄視神経症に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. スモンはその症状として、初期には腹部の膨満感から激しい腹痛を伴う下痢を生じ、次第に下半身の痺れや脱力、歩行困難等が現れる。
- c. キノホルム製剤には、一般用医薬品として販売されていた製品はない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	正	誤	正
5	誤	誤	正

主な医薬品とその作用

【問 2 1】

かぜ薬に配合される成分に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. コデインリン酸塩水和物（リン酸コデイン）は、去痰^{たん}作用を目的として配合されている。
- b. リゾチーム塩酸塩（塩化リゾチーム）は、鶏卵アレルギーがある人では使用を避ける必要がある。
- c. グリチルリチン酸を大量に摂取すると、偽アルドステロン症を生じるおそれがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問 2 2】

次の記述に当てはまる漢方処方製剤を下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

かぜのひき始めで、寒気がして発熱、頭痛があり、体のふしぶしが痛い場合に適するとされるが、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、悪心、胃部不快感、発汗過多、全身脱力感等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

- 1. 麦門冬湯 ばくもんどうとう
- 2. 桂枝湯 けいしとう
- 3. 小柴胡湯 しょうさいことう
- 4. 麻黄湯 まおうとう
- 5. 小青竜湯 しょうせいりゅうとう

【問 2 3】

次の表は、あるかぜ薬に含まれている成分の一覧である。

このかぜ薬に含まれている成分とその配合目的に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1日6カプセル中	
アセトアミノフェン	390mg
トラネキサム酸	420mg
エテンザミド	850mg
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 (d-マレイン酸クロルフェニラミン)	3.5mg
チペピジンヒベンズ酸塩 (ヒベンズ酸チペピジン)	75mg
dl-メチルエフェドリン塩酸塩 (dl-塩酸メチルエフェドリン)	60mg
無水カフェイン	75mg

- a. トラネキサム酸・・・炎症の発生を抑え、腫れを和らげる
- b. エテンザミド・・・脳に軽い興奮状態を引き起こし、倦怠感を抑える
- c. d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 (d-マレイン酸クロルフェニラミン)
・・・痰の中の粘性蛋白質に作用して、痰の切れをよくする
- d. チペピジンヒベンズ酸塩 (ヒベンズ酸チペピジン)
・・・中枢神経系に作用し、咳を抑える

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (a , d) 4. (b , c) 5. (b , d)

【問 2 4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アスピリンは、体内でのプロスタグランジンの産生を抑える成分である。
- b. サリチル酸系解熱鎮痛成分には、アスピリン、エテンザミド、イソプロピルアンチピリンがある。
- c. 鎮痛の目的で用いられる漢方処方製剤のうち、薏苡仁湯は、関節痛、筋肉痛に適するとされる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問25】

アセトアミノフェンに関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 主として中枢性の作用によって解熱・鎮痛をもたらすと考えられている。
- b. 強い抗炎症作用が期待できる。
- c. 他の解熱鎮痛成分のような胃腸障害は比較的少ないとされ、空腹時に服用できる製品がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	正	誤	正
5	誤	誤	正

【問26】

ブロモバレリル尿素（ブロムワレリル尿素）に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 脳の興奮を抑え、痛み等の感覚を鈍くする作用を示す。
- b. ブロモバレリル尿素（ブロムワレリル尿素）が配合された医薬品を使用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- c. 反復して摂取しても依存を生じることはない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問27】

カフェインに関する次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 尿量の増加（利尿）をもたらす作用がある。
- b. 胃液の分泌を抑える作用がある。
- c. コーヒーやお茶などの食品として摂取されていることから、医薬品でも長期間連続して服用しても問題ないとされている。
- d. 循環血液中に移行したカフェインの一部は、胎盤関門を通過して胎児に到達することが知られている。

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (a, d) 4. (b, c) 5. (b, d)

【問28】

鎮^{うん}薬（乗物酔い防止薬）に配合される成分に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. スコポラミン臭化水素酸塩水和物（臭化水素酸スコポラミン）は、眠気を促すほかに、目のかすみや散^{どう}瞳による異常なまぶしさを引き起こすことがある。
- b. ジフェニドール塩酸塩（塩酸ジフェニドール）は、内耳にある前庭と脳を結ぶ神経（前庭神経）の調節作用のほか、内耳への血流改善作用を示す。
- c. 塩酸メクリジンは、他の抗ヒスタミン成分と比べて作用が現れるのが早く持続時間が短い。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	正
3	正	誤	誤
4	正	正	誤
5	正	正	正

【問 29】

小児の疳^{かん}を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤（小児鎮静薬）に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 小児鎮静薬は、夜泣き、ひきつけ、疳^{かん}の虫等の症状を鎮めるほか、小児における虚弱体質、消化不良などの改善を目的とする医薬品である。
- b. 古くから伝統的に用いられているため、作用が穏やかで小さな子供に使っても副作用はない。
- c. 漢方処方製剤として、抑肝散^{よくかんさん}がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問 30】

次の漢方処方製剤のうち、咳止めや痰^{たん}を出しやすくする目的で用いられ、構成生薬としてカンゾウを含まない製剤を次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. 半夏厚朴湯^{はんげこうぼくとう}
- 2. 柴朴湯^{さいぼくとう}
- 3. 神秘湯^{しんぴとう}
- 4. 五虎湯^{ごことう}
- 5. 麻杏甘石湯^{まきょうかんせきとう}

【問 3 1】

口腔咽喉薬やうがい薬（含嗽薬）に用いられる次の a～d の成分のうち、殺菌消毒作用を目的として配合されるものの正しい組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩化デカリニウム
- b. アズレンスルホン酸ナトリウム
- c. クロルヘキシジングルコン酸塩（グルコン酸クロルヘキシジン）
- d. グリセリン

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (a , d) 4. (b , c) 5. (c , d)

【問 3 2】

健胃薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. センブリが配合された散剤は、オブラートで包み服用するのがよい。
- b. ユウタンは、健胃作用を期待して用いられるほか、消化成分として配合される場合もある。
- c. 香りによる健胃作用を期待して用いられる生薬として、コウボクや乾燥酵母がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問33】

胃の薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 胃粘膜保護・修復成分として、テプレノンやセトラキサート塩酸塩（塩酸セトラキサート）が配合される場合がある。
- b. ピレンゼピン塩酸塩水和物（塩酸ピレンゼピン）は、アセチルコリンの働きを促進することにより、過剰な胃液の分泌を抑える作用を示す。
- c. 消化管内容物中に発生した気泡の分離を抑制することを目的として、ジメチルポリシロキサン（別名ジメチコン）が配合されている場合がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問34】

止瀉成分として配合されるものを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. 塩酸ロペラミド
- 2. ヒマシ油
- 3. 酸化マグネシウム
- 4. ジオクチルソジウムスルホサクシネート（DSS）
- 5. マルツエキス

【問35】

胃腸鎮痛鎮痙薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ロートエキスは、吸収された成分が母乳中に移行することはないので、授乳期でも安心して使用できる。
- b. パパベリン塩酸塩（塩酸パパベリン）は、消化管の平滑筋に直接働いて胃腸の痙攣を鎮める作用を示すとされる。
- c. ブチルスコポラミン臭化物（臭化ブチルスコポラミン）は、まれに重篤な副作用としてショック（アナフィラキシー）を生じることが知られている。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	正	誤	誤
5	正	正	正

【問36】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 浣腸薬は、繰り返し使用すると直腸の感受性低下が生じて効果が弱くなるため、連用しないこととされている。
- b. 痔出血の症状がある人には、グリセリンが配合された浣腸薬を使用することが望ましい。
- c. サントニンは、回虫の自発運動を抑える作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問37】

次の a～c の () に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

強心薬は、疲労やストレス等による (a) の心臓の働きの乱れについて、心臓の働きを整えて、動悸や息切れ等の症状の改善を目的として用いられる。

その代表的な配合成分として、シナヒキガエル又はヘリグロヒキガエルの毒腺の分泌物を集めた (b) や、シベリアジカ、マンシュウアカジカ等の雄の幼角を用いた (c) などがある。

	a	b	c
1	軽度	センソ	ジャコウ
2	軽度	ゴオウ	ジャコウ
3	軽度	センソ	ロクジョウ
4	重度	ゴオウ	レイヨウカク
5	重度	センソ	ロクジョウ

【問38】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 低密度リポ蛋白質 (LDL) は、末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運ぶリポ蛋白質である。
- b. 大豆油不飽和化合物 (ソイステロール) には、末梢組織におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。
- c. 血中コレステロール異常に伴う末梢血行障害 (手足の冷え、痺れ) の緩和を目的として、ビタミンE (トコフェロール酢酸エステル (酢酸トコフェロール)) が用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 39】

貧血用薬（鉄製剤）に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 鉄製剤を服用すると便が黒くなることがある。
- b. 鉄製剤の服用前後 30 分にグレープフルーツを摂取すると、鉄の吸収が悪くなる
ことがある。
- c. 骨髄での造血機能を高める目的で、硫酸コバルトが配合される場合がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問 40】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 日本薬局方収載のコウカを煎^{せん}じて服用する製品は、冷え性及び血色不良に用いられる。
- b. ルチンは、高血圧症等の患者における毛細血管の補強、強化の効果を期待して用いられる。
- c. ヘプロニカートは、末梢の血液循環を改善する作用を示す。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問 4 1】

外用痔疾用薬に配合される成分とその作用の関係が正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

成 分	作 用
a. アミノ安息香酸エチル -----	抗炎症作用
b. グリチルレチン酸 -----	局所麻酔作用
c. 酸化亜鉛 -----	収斂保護止血作用
d. アラントイン -----	組織修復作用

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (a , d) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 4 2】

泌尿器用薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ウワウルシ（ツツジ科のクマコケモモの葉）は、経口的に摂取した後、尿中に排出される分解代謝物が抗菌作用を示し、尿路の殺菌消毒効果を期待して用いられる。
- b. カゴソウは、アケビ科のアケビ又はミツバアケビの蔓性の茎である。
- c. 猪苓湯は、尿量が減少し、尿が出にくく、排尿痛あるいは残尿感がある人に適するとされる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	正	誤	誤

【問 4 3】

婦人薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 女性ホルモン成分は、長期連用により血栓症を生じるおそれがある。
- b. 女性ホルモン成分は妊娠中に摂取しても問題はない。
- c. 当帰芍薬散^{とうまいやくやくさん}は、女性の月経や更年期障害に伴う諸症状の緩和に用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 4 4】

アレルギー用薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 抗ヒスタミン成分は、肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることにより、ヒスタミンの働きを抑える作用を示す。
- b. グリチルリチン酸二カリウムは、抗ヒスタミン成分である。
- c. ジフェンヒドラミン塩酸塩（塩酸ジフェンヒドラミン）を含む医薬品については、母乳を与える女性は使用を避けるか、使用する場合には授乳を避ける必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 4 5】

鼻に用いる薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ナファゾリン塩酸塩（塩酸ナファゾリン）が配合された点鼻薬は、過度に使用されると二次充血を招き、鼻づまり（鼻閉）がひどくなりやすい。
- b. 点鼻薬は、局所に適用されるもので、全身的な影響を生じることはない。
- c. クロモグリク酸ナトリウムは、鼻粘膜の過敏性や痛みや痒み^{かゆみ}を抑えることを目的とした局所麻酔成分である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 4 6】

眼科用薬に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. エフェドリン塩酸塩（塩酸エフェドリン）は、緑内障と診断された人では、眼圧の低下をまねき、緑内障を悪化させたり、その治療を妨げるおそれがある。
- b. ビタミンB₁₂は、目の調節機能を助ける作用を期待して用いられる。
- c. ネオスチグミンメチル硫酸塩（メチル硫酸ネオスチグミン）は、コリンエステラーゼの働きを抑える作用を示し、目の調節機能を改善する効果を期待して用いられる。
- d. スルファメトキサゾール等のサルファ剤は、ウイルスや真菌の感染に対する効果が期待できる。

1. (a , b) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 4 7】

皮膚に用いる薬に関する次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ヨウ素の殺菌力は、アルカリ性になることで増強する。
- b. ブフェキサマクは、湿疹、皮膚炎、かぶれ、日焼け、あせも等による皮膚症状の緩和を目的として用いられる非ステロイド性抗炎症成分である。
- c. サリチル酸は、角質成分を溶解することにより角質軟化作用を示す。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問 4 8】

抗炎症成分に関する次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ヒドロコルチゾン¹は、末梢組織の免疫機能を低下させる作用を示す。
- b. ウフェナマート²は、炎症を生じた組織に働いて、細胞膜の安定化、活性酸素の生成抑制などの作用により、抗炎症作用を示すとされる。
- c. インドメタシン³は、ステロイド性抗炎症成分である。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	誤	正	誤

【問49】

皮膚に用いる薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩化カルプロニウムは、末梢組織（適用局所）においてアドレナリンに類似した作用を示すことによる発毛効果を期待して用いられる。
- b. 一般的にじゅくじゅくと湿潤しているみずむしの患部には、液剤より軟膏又はクリームが適する。
- c. ウンデシレン酸は、患部を酸性にすることで、皮膚糸状菌の発育を抑える。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問50】

歯槽膿漏に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 歯肉炎は重症化すると、炎症が歯周組織全体に広がり、歯周炎（歯槽膿漏）となることがある。
- b. カルバゾクロムは、炎症を起こした歯周組織からの出血を抑える作用を期待して配合されている場合がある。
- c. カミツレは、抗炎症、抗菌などの作用を期待して配合されている場合がある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 5 1】

口内炎用薬に配合される成分として、誤っているものを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. 塩化セチルピリジニウム
2. クロルヘキシジン塩酸塩（塩酸クロルヘキシジン）
3. フェノトリン
4. アズレンスルホン酸ナトリウム
5. グリチルレチン酸

【問 5 2】

禁煙補助剤に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 禁煙補助剤は、ニコチンの摂取方法を喫煙以外に換えて離脱症状の軽減を図りながら徐々に摂取量を減らしていくニコチン置換療法に使用される。
- b. 咀嚼剤は、コーヒーや炭酸飲料など口腔内を酸性にする食品を摂取した後、しばらくは使用を避けることとされている。
- c. 咀嚼剤は、噛むことにより口腔内でニコチンが放出され、そのニコチンが口腔粘膜から吸収されて循環血液中に移行する。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 5 3】

ビタミン成分に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ビオチンは、皮膚や粘膜などの機能を維持することを助ける栄養素として、医薬品に配合されている場合がある。
- b. ビタミンB₆ は、蛋白質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の健康維持、神経機能の維持に重要な栄養素である。
- c. ビタミンB₁₂ は、白血球の形成を助けるために重要な栄養素である。
- d. ビタミンD は、体内の脂質を酸化から守り、細胞の活動を助ける栄養素であり、血流を改善させる作用もある。

1. (a , b) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 5 4】

滋養強壮保健薬に用いられる成分に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ヘスペリジンはビタミン様物質のひとつで、ビタミンAの吸収を助ける等の作用があるとされている。
- b. コンドロイチン硫酸ナトリウムは、関節痛、筋肉痛等の改善を促す作用を期待してビタミンB₁等と組み合わせて配合されている場合がある。
- c. アミノエチルスルホン酸（タウリン）は、骨格筋の疲労の原因となる乳酸の分解を促す働きを期待して用いられる。
- d. システインは、肝臓においてアルコールを分解する酵素の働きを助け、アセトアルデヒドと直接反応して代謝を促す働きがあるとされる。

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 5 5】

次の記述に該当する生薬を下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

イネ科のハトムギの種皮を除いた種子を用いた生薬で、肌荒れやいぼに用いられる。

また、ビタミンB₂主薬製剤やビタミンB₆主薬製剤、瀉下薬等の補助成分として配合されている場合もある。

1. ニンジン
2. ヨクイニン
3. ゴオウ
4. トウキ
5. センキュウ

【問 5 6】

次の記述に当てはまる漢方処方製剤を下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

下肢の痙攣性疼痛（いわゆる「足がつる」症状やこむらがえり）、急な腹痛や胃痙攣の痛み等のような、急激に起こる筋肉の痙攣を伴う疼痛に適するとされる。ただし、症状があるときのみの服用にとどめ、連用を避けることとされている。

1. 防風通聖散
2. 芍薬甘草湯
3. 葛根湯
4. 十全大補湯
5. 安中散

【問 5 7】

消毒薬に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 殺菌・消毒とは、物質中のすべての微生物を殺滅又は除去することである。
- b. クレゾール石鹼液は、結核菌に対する殺菌消毒作用がある。
- c. エタノールは、粘膜刺激性があり、傷がある部分への使用は避けることとされている。
- d. クロルヘキシジングルコン酸塩（グルコン酸クロルヘキシジン）は、ウイルスに対する殺菌消毒作用がある。

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 5 8】

殺虫剤に関する次の a～c の（ ）に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

プロポクスルは（ a ）系殺虫成分で、コリンエステラーゼの阻害によって殺虫作用を示すが、（ b ）系殺虫成分と異なり、コリンエステラーゼとの結合は（ c ）である。

	a	b	c
1	カーバメイト	ピレスロイド	可逆的
2	有機リン	カーバメイト	不可逆的
3	有機リン	カーバメイト	可逆的
4	カーバメイト	有機リン	不可逆的
5	カーバメイト	有機リン	可逆的

【問59】

尿糖・尿蛋白検査薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 採尿の仕方として、出始めの尿を採取することが望ましい。
- b. 通常、尿は弱酸性であるが、食事その他の影響で中性～弱アルカリ性に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- c. 医薬品の中には、検査結果に影響を与える成分を含むものがある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	正	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問60】

妊娠検査薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 妊娠が成立すると、ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）が分泌され始め、やがて尿中にhCGが検出されるようになる。
- b. 胃癌や卵巣癌等の場合、妊娠していなくてもヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）が分泌され、検査結果が陽性となることがある。
- c. 一般的な妊娠検査薬は、月経予定日が過ぎて概ね1週目以降の検査が推奨されている。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	正	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	正	誤	正